

CT 検査を受けられる方へ

CT 検査の放射線量

CT 検査は、**診察に必要な情報を得るために**、身体に対し 5～50mGy の放射線を照射します。
照射する放射線の量は、最小限になるように装置が自動で制御をし、被ばくを低減しています。

表1.当院における部位別被ばく線量

撮影部位	平均線量 (mGy)
頭部	50
胸部	5
腹～骨盤	10
胸～骨盤	13

放射線被ばくの身体へのリスク

① 一定以上の放射線量を被ばくすると現れるリスク

当院のCT検査で、
100mGy/回以上の被ばくは無いため、
身体への影響はとても低いです。



表2.一定以上被ばくすると現れる影響

障害	臓器/組織	放射線量 (mGy)
一時的不妊	精巣	100
永久不妊	精巣	6000
	卵巣	3000
造血機能低下	骨髄	500
皮膚発赤	皮膚 (広範囲)	3000～6000
皮膚熱傷	皮膚 (広範囲)	5000～10000
一時的脱毛	皮膚	4000
白内障	眼	500

※この値は積算ではなく、1回に被ばくする放射線の量です。

② 放射線被ばくでがんや白血病へのリスク

CT の放射線量は少ないため、がんや白血病のリスクもとても低いと考えられます。

この検査において何か不安なことや疑問があれば
遠慮なく放射線技師にお尋ねください。

わたしたちは、地球や宇宙からの
自然放射線を毎日浴びています。
その量は2年間で胸の CT 1 回分
に相当します。

